

# 製品安全データシート

作成:2007年 7月20日

改訂:2015年 4月15日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF017-7  
製品名 : テクリードCフロアブル  
会社名 : クミアイ化学工業株式会社  
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26  
担当部門 : 生産資材部生産業務課  
電話番号 : 03-3822-5180  
FAX番号 : 03-3827-0825  
緊急連絡先 : 同上  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

物理化学性危険性	引火性液体	: 区分外
	自然発火性液体	: 区分外
	酸化性液体	: 区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分外
	急性毒性(経皮)	: 区分外
	急性毒性(吸入:ガス)	: 分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類対象外
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分3
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分外
	皮膚感作性	: 区分外
	呼吸器感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 区分外
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 区分1B
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分1(中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器)
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分1(中枢神経系、呼吸器、心臓)
	吸引力呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	: 区分1
	水生環境有害性(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・軽度の皮膚刺激
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・臓器(中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器)の障害

- ・長期または反復暴露による臓器（中枢神経系、呼吸器、心臓）の障害
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】

- ・使用前に取扱い説明書入手し、安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・取扱いの際には、飲食または喫煙をしないこと。
- ・指定された個人用保護用具（保護手袋等）を着用すること。
- ・ミスト、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避け、吸入しないこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・取扱い後はよく洗うこと。

【対応】

- ・皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- ・汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

化学名:(1RS,2SR,5RS;1RS,2SR,5SR)-2-(4-クロロベンジル)-5-イソプロピル-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イソメチル)シクロペンタノール／一般名:イブコナゾール  
水酸化第二銅

成分及び含有量:	イブコナゾール	5.0%
	水酸化第二銅	4.6%
<その他>	エチレングリコール	10.0%
	水、界面活性剤等	80.4%

化学式: C<sub>18</sub>H<sub>24</sub>ClN<sub>3</sub>O / イブコナゾール  
Cu(OH)<sub>2</sub> / 水酸化第二銅  
C<sub>2</sub>H<sub>6</sub>O<sub>2</sub> / エチレングリコール

官報公示整理番号: 化審法 (2)-230 / エチレングリコール  
安衛法 8-(3)-796 / イブコナゾール

CAS No.: 115850-69-6 / イブコナゾール(1RS, 2SR, 5RS)  
115937-89-8 / イブコナゾール(1RS, 2SR, 5SR)  
20427-59-2 / 水酸化第二銅  
107-21-1 / エチレングリコール

4. 応急措置

目に入った場合:直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合:汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。石鹼を用いて洗浄する。

吸入した場合:被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。汚染された衣類や保護具を取り除く。多量に吸入した場合は、必ず医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

水酸化第二銅の中毒症状にはBAL、ペニシラミン、エデト酸塩の投与、胃洗浄が有効である。

#### 5. 火災時の措置

消火方法:初期の消化には粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤:水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消火活動上の注意:消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

#### 6. 漏出時の措置

作業員に対する注意:作業の際には保護具(暴露防止措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。

環境影響に対する注意:流出した多量の製品が河川、湖沼、海域及び養殖池に流入し、環境への影響を起さないように適切に処置する。

流出物の処理に対する注意:少量の場合は乾燥砂、土、おかくず、ウエス等に吸収させて密閉出来る空容器に回収する。大量の場合には盛土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意:取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにする。

皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

火災・爆発の防止:通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意:直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

#### 8. 暴露防止措置

許容濃度:エチレングリコール TWA-STEL Ceiling; 100mg/m<sup>3</sup> (Aerosol only) ACGIH(2010年)

設備対策:取り扱いについては、密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する

保護具 呼吸用保護具:防塵マスク

保護手袋:ゴム手袋

保護眼鏡:側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣:作業着、帽子、保護服、保護クリーム、ゴム長靴

#### 9. 物理・化学的性質

外観等	: 淡青緑色粘稠水和性懸濁液体
臭い	: データなし
pH (10倍希釈)	: 9.2
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
発火点	: データなし
燃焼性	: データなし
燃焼又は爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし

蒸発速度		: データなし
密度・比重	(20°C)	: 1.21
溶解度		: データなし
オクタノール／水分配係数		: データなし
分解温度		: データなし
粘度	(20°C)	: 521mPa・s

#### 1 0. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の保管環境下で安定。水酸化第二銅は60°C以上で参加第二銅と水に分解
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

#### 1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分外	2,000 mg/kg 以上(ラット、♀)
急性毒性（経皮）	: 区分外	2,000 mg/kg 以上(ラット、♂♀)
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類対象外	
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類対象外	
急性毒性（吸入：ミスト）	: データが無いので分類できない	
皮膚腐食性／刺激性	: 区分3	ウサギに対して区分3に分類される皮膚刺激性あり
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: 区分外	ウサギに対して区分されない程度の眼刺激性あり
呼吸感作性	: データが無いので分類できない	
皮膚感作性	: 区分外	モルモットに対し陰性
生殖細胞変異原性	: 区分外	区分される物質を含まない
発がん性	: 分類できない	知見が不足しているので分類できない
生殖毒性	: 区分1B	エチレングリコールが区分1Bに分類される。
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: 区分1	エチレングリコールが区分1に分類される。
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: 区分1	エチレングリコールが区分1に分類される。
吸引性呼吸器有害性	: データが無いので分類できない	

#### 1 2. 環境影響情報

混合物としてのデータはないが、以下の知見から急性水生有害性、慢性水生有害性ともに区分1とした。

生態毒性 魚	96hLC50	: 1.6 mg/L	イプコナゾール	コイ
	96hLC50	: 0.079 mg/L	水酸化第二銅	コイ
甲殻類	48hEC50	: 1.46 mg/L	イプコナゾール	オオミジンコ
	48hEC50	: 0.054 mg/L	水酸化第二銅	オオミジンコ
藻類	72hEC50	: 0.73 mg/L	イプコナゾール	緑藻類
	72hEC50	: 0.031 mg/L	水酸化第二銅	緑藻類
残留性／分解性		: データ無し		
生体蓄積性		: データ無し		
土壤中の移動性		: データ無し		
その他		: データ無し		

#### 1 3. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

#### 1 4. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質)  
国連番号 : 3082(環境有害物質、液体)

#### 1 5. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第18601号  
消防法 : 非該当  
労働安全衛生法 : 第18条の2(通知対象物質):銅およびその化合物(政令番号379)  
第18条の2(通知対象物質):エチレングリコール(政令番号75)  
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 非該当  
毒物劇物取締法 : 非該当

#### 1 6. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。  
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献:1)JIS Z 7252:2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法  
2)GHS対応ガイドライン 製品安全性データシート作成指針  
2012年6月 一般社団法人 日本化学工業協会  
3)農薬中毒の症状と治療法 第13版 平成22年4月 農薬工業会

#### 作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。